

文化博物館だよりNo.70

みなさん、こんにちは。

いよいよ17年度が始まりました。学校関係は新年度の準備や子どもたちの受け入れなどで大忙しでしょう。今年の桜前線は例年よりもゆっくりと北上しているようですが、今朝、通勤の途中でウグイスの”さえずり”を聞きました。“ホーホケ ケキョ”とまだまだ滑らかな感じではありませんでしたが、生き物たちもしっかりと春の訪れを感じています。

博物館だよりも3年目を迎えました。今年度も様々な角度から博物館情報を発信できるように努力いたします。ご意見・ご要望がありましたら、いつでもお聞かせ下さい。

1. 竹久夢二展はじまる

4月2日(土)、生誕120年記念 夢二郷土美術館(岡山市)所蔵 竹久夢二展が始まりました。当日9:30より開会式、10:00から一般公開となりました。曇り空でしたが、初日から多数の方が観覧され、多様な夢二芸術の作品に目を向けられていました。



教育長あいさつ



開会式



夢二郷土美術館 小嶋館長

開会式では、「“作品を通して、夢二の心の詩を感じてほしい”、“芸術は一部の人のものではなく、日常生活の中にあるものすべてが芸術であり、すべての人のもの”という夢二の創作が鑑賞できると思います。」と、夢二郷土美術館の小嶋館長が“夢二芸術の多様性”について話されました。夢二式美人、封筒やハガキのデザイン、セノオ楽譜、装丁本など画家として、詩人として、そして、デザイナーとして活躍した“マルチアーティスト夢二”の世界をお楽しみ下さい。

現代ではパソコンを使って何でも手軽にデザインできる時代ですが、夢二の残した作品を前にすると、その獨創性と斬新さ、そして繊細な感性からか、しばらく立ち止まってしまいます。



テープカット



観覧の様子



会期 : 4月 2日(土)～5月8日(日)

講演会 : 4月23日(土) 14:00～ 「竹久夢二の世界」 講師: 夢二郷土美術館 統括マネージャー 小川晶子氏

定員100名 聴講無料(要観覧券)

電話受付中ですが、残りわずかです。

2. 十二単の修繕をしてもらいました

体験学習室で着付け体験ができる“十二単”が、このところ使用頻度が増え、ほころびが目立つようになりました。先日、着付けのボランティアをしている方々に、ほころびの繕いをしてもらいました。おしゃべりしながら、和気あいあいとしていましたが、針を持つ手はスムーズで、さすがです。



博物館、ある日の午後のひとコマです。

明石市立文化博物館
編集：永田浩史